

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(5)-ウ	新産業の創出や産業のグローバル化を担う人材の育成	施策	① 新産業の創出を担う人材の育成	
			施策の小項目名	○文化産業人材育成	
主な取組	沖縄文化等コンテンツ産業創出支援事業			実施計画記載頁	409
対応する主な課題	②強くしなやかな自立型経済の構築に向け、スポーツ関連産業、文化コンテンツ産業、金融関連産業など成長可能性を秘めた新産業の芽を育て沖縄を支える産業を伸長させるためには、これらの分野にチャレンジする人材の育成が必要であり、育成した人材を市町村や関係機関等において積極的に活用する必要がある。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		29	30	31	32	33
<p>沖縄の文化等を活用したコンテンツを創出し、県の新たな成長産業としてコンテンツ産業を振興するため、コンテンツ制作プロジェクトに対して投資ファンドによる制作資金の供給を行うとともに、制作段階に応じたハンズオン支援を行う。</p>		有望なコンテンツの創出、プロデューサーの育成				
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【098-866-2768】					

2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況							(単位:千円)			
予算事業名 沖縄文化等コンテンツ産業創出支援事業							H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画	
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	○H29年度: ファンドの最終年度であることから、既存の投資案件に対するハンズオン支援等のほか、清算作業に向けたファンド運営サポートを行った。	
一括交付金(ソフト)	委託	34,171	30,073	30,852	27,598	21,466	0	—	○H30年度: —	
予算事業名 —							H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画	
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	○H29年度:	
									○H30年度:	

様式1(主な取組)

活動指標名	有望なコンテンツの創出、プロデューサーの育成				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
		—	—	—	—	15件	—	80.0%	21,466	概ね順調
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
<p>①アドバイザーボード(各分野における専門家集団)をはじめとする文化産業やコンテンツビジネスの専門家の意見を踏まえながら、事業の課題と成果を整理する必要がある。</p> <p>②既に出資した案件に対し、制作品の価値を高めるための助言、指導に積極的に取り組む。</p>						<p>①平成29年8月にアドバイザーボードを含む外部有識者との意見交換会を実施し、得られた意見を踏まえながら、事業実績の総括を行った。</p> <p>②既に出資した案件に対し、価値を高めるための助言、指導に積極的に取り組んだ。</p>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

#### ○内部要因

・市場環境の変化が激しいコンテンツ産業においては、沖縄の文化資源に対する認知度や関心にも、市場環境の変化の影響が及ぶことに留意する必要がある。

#### ○外部環境の変化

・文化芸術振興基本法の改正により平成29年6月施行となった文化芸術基本法では、文化芸術に関する施策の推進に当たっては、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関連分野における施策との有機的な連携が図られるよう配慮されなければならないこととされている。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・県内外のコンテンツ関連事業者に対して、沖縄の文化資源を活用する取組についての認知度や関心の向上を図る必要がある。

### 4 取組の改善案(Action)

・県内外のコンテンツ関連事業者に対して、沖縄の文化資源を活用する取組への意欲喚起に向けた広報PR等に取り組む。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(5)-ウ	新産業の創出や産業のグローバル化を担う人材の育成	施策	① 新産業の創出を担う人材の育成	
			施策の小項目名	○文化産業人材育成	
主な取組	文化観光戦略推進事業			実施計画記載頁	409
対応する主な課題	①本県の独特な自然、文化資源や健康長寿などのソフトパワーは、次世代の産業を創り出す資源として大きなポテンシャルを秘めているが、これらを事業化、産業化に結びつけるノウハウをもった人材育成が必要である。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		29	30	31	32	33
文化資源を活用した新たな観光のメニューとなる魅力あるコンテンツ(舞台公演)を定時・定常的に実施し、観光客が観劇しやすい環境を整え、観光誘客を図る。また、観光客の沖縄の芸能に対する認知度や理解度を高めるための取組を行う。						
実施主体	県	文化人材と観光分野等の異分野との相互交流・連携機会の創出				
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【098-866-2768】					

2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況 (単位:千円)

予算事業名	文化観光戦略推進事業						H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
一括交付金(ソフト)	補助	90,840	198,938	162,520	74,281	78,151	71,421	一括交付金(ソフト)	○H29年度: 文化資源を活用した魅力ある舞台公演の実施 ○H30年度: 文化資源を活用した魅力ある舞台公演の実施
予算事業名	—						H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
									○H29年度: ○H30年度:

様式1(主な取組)

活動指標名	文化人材と観光分野等の異分野との相互交流・連携機会の創出				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要		
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B					
実績値	—	—	—	—	実施	—	100.0%	78,151	順調	観光事業者等を招待し、公演内容を紹介する「ショーケース」を開催する等、文化人材と観光分野の交流・連携機会を創出した。		
活動指標名	—				H29年度					実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度								
実績値										観光事業者等に対して、文化資源を活用した新たな観光のメニューとなる魅力ある舞台公演への認知度や理解度を高めることができた。		
活動指標名	—				H29年度			実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B		
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度								
(2)これまでの改善案の反映状況												
平成29年度の取組改善案						反映状況						
・観光関連事業者等との更なる連携を目指し、プロモーションにおけるブランディング等の強化を図る。						・沖縄の芸能に対する認知度や理解度を高めるため、「ショーケース」等の取組を行った。						



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・文化振興会による公演団体へのよりきめ細やかな支援体制を構築することが観光誘客に効果的である

○外部環境の変化

—

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・文化振興会による公演団体へのよりきめ細やかな支援体制を構築することが観光誘客に効果的であるため、公演団体と文化振興会が緊密な連携を図れるよう、平成30年度においては、舞台公演を制作・上演する団体を絞り込む必要がある。

### 4 取組の改善案(Action)

・文化振興会による公演団体へのよりきめ細やかな支援体制を構築することが観光誘客に効果的であるため、公演団体と文化振興会が緊密な連携を図れるよう、平成30年度においては、舞台公演を制作・上演する団体を絞り込む。